

個の時代に医療はどうなるのか

: with or after コロナを見据えて

豊かな国では世界価値観調査において自己表現価値が上昇している。さらに、コロナ禍によって個や家族での行動が増え、ますます、自分らしさが要求される時代になった。一方では、アルツハイマーの新薬のように予防の薬も現れ、ネオ・ヒューマンのようにALSでも長期にかつQOLを保ちながら生きることができる。このような時代背景において、医療はどうあるべきなのか、を考えたい。



講師 真野 俊樹 氏

医師、医学博士、経済学博士、MBA。
中央大学大学院戦略経営研究科（ビジネススクール）教授
多摩大学大学院特任教授
名古屋大学未来社会創造機構客員教授

1987年名古屋大学医学部卒業。臨床医を経て、1995年9月コーネル大学医学部研究員。外資系製薬企業、国内製薬企業のマネジメントに携わる。2000年に英国レスター大学大学院でMBA、2004年に京都大学にて博士（経済学）取得。その後、国立医療・病院管理研究所協力研究員、昭和大学専任講師、多摩大学医療リスクマネジメント研究所教授、同大学医療・介護ソリューション研究所所長等を経て現職。行政刷新会議・規制・制度改革に関する分科会ライフイノベーションWG、厚生労働省独立行政法人評価に関する有識者会議WGなど、政府などの有識者会議委員を歴任。

日時 2021年10月29日(金)15:30-17:00

場所： オンライン開催 (Zoom)

参加費： 無料

参加登録：<https://bit.ly/2WqFzDF>



※聴講申込用googleフォーム

※事前に上記googleフォームにて参加登録下さった方に、聴講用URLをお知らせ致します

URL：<http://www.intcul.tohoku.ac.jp/g2sd/jp/workshop/>

使用言語：日本語

主催： 東北大学大学院 国際文化研究科

後援： MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
MS&ADインターリスク総研株式会社

(お問合せ) 国際文化研究科グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム(G2SD)担当: ienv.gsics@gmail.com